
受験の心構え

葛城純一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

受験の心構え

【Nコード】

N2916B

【作者名】

葛城純一

【あらすじ】

眼鏡の受験生とコンタクトの受験生が張り出されている合格発表を見に、大学へ行っている途中でのお話し。

(前書き)

全国の受験生への応援メッセージを込めたつもりです。

とある大学の合格発表の日。二人の同じ制服を着た受験生が並んで自分の可否を確かめるために、その大学へと行っている途中。

「実はね、こんな話があるんだ」

右側を歩くコンタクトの受験生が左側を歩く眼鏡の受験生に話しかける。

「どういう話しだ？」

「うん、志望校決定の面談の時の話しなだけどね」

コンタクトの受験生は一度息を吸って、はいて、話し始めた。

「とある生徒が先生に『そん大学は厳しかばい、“滑り止め”はどがんするね？』って尋ねられて、『“滑り止め”はいりません』って答えだって」

「へー、それで？」

「そんでもって先生は『なしてね？』って聞くと、そいつは『滑り止めがあったらよく滑らなくなっちゃうじゃないですか』って答えたんだ。どうしてだと思う？」

眼鏡の受験生はしばらく考えてみるが、

「さあね」

と答えた。

「ん、そいつが言うには『僕はその大学に“滑り込み”で合格するからです！』だってさ」

「へえー……それでそいつはどうなったんだ？“滑り込んだ”のか、それとも“滑り落ちた”のか？」

眼鏡の受験生が素っ気なく尋ねると、コンタクトの受験生は満面の笑みでこう答えた。

「さあね、だから今からそれを確かめにいくのさ」

にこやかに笑う眼鏡の受験生。

「お前ってさ、本物の自信家か、本物の楽天家か、本物の博打うち

か、本物の馬鹿だな」

やがて二人は目的地に到着する。眼鏡とコンタクト越しに日本一狭い“赤門”がそびえ立っているのが見えた。

(後書き)

全国の受験生の皆さん、
コンタクトの受験生くらいの気概を持ちま
しょう!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2916b/>

受験の心構え

2011年1月2日14時07分発行